

日本宝飾クラフト学院サマーセミナー



1~3日の短期間で習得
7月23日から
35講座開講

「すぐに仕事に活かせる技術が短期間で習得できる」として、毎年人気となる日本宝飾クラフト学院のサマーセミナー(夏期宝飾実務講座)の35講座が、7月23日から東京本校と名古屋校(3講座)で開催される。このセミナーは、毎年実施される好評の大型セミナーで、ジュエリーデザイン、制作技術、宝石学など専門技術別に様々な講座がある。各種の専門技術が短期間(1~3日)で習得でき、即座に仕事に活かせるため、新入社員から専門店の販売員、職人、新規事業拡大など幅広い層の業界から好評を博す。今年、ひねりパーツで手軽にオシャレなプレスレットを作れる「ひねりパーツと天然石のプレスレット」(東京校)と、リフォーム接客のポイントを学べる「気づきから始まるリフォームの接客」(名古屋校)を新規に開講する。昨年人気だった、初めてのK18講座は、本校に加え名古屋校でも開催する。

人気の講座は、例年早い時期に定員に達してしまうので、希望者は早めに申し込むとよい。

法人割引・複数割引で学びやすく

好評の法人割引を今年も引き続き行う。同一企業から2人以上が受講の場合には、受講料が10%割引となる。ジュエリー関連企業のスタッフの研修などに積極的に活用したい。また、1人で複数の講座を申し込むと受講料が10%引きになる複数割引制度も実施している。受講申し込み・問い合わせは、東京本校フリーダイヤル0120-3388-26まで。なお、同校HPからも申し込みが可能。ネット申し込みは、PC、スマートフォン、タブレットに対応。https://www.jj-craft.com/

7月25日~27日開催

「ものづくり匠の技の祭典2019」の手伝い募集

東京貴金属技能士会が、7月25日~27日に開催される「ものづくり匠の技の祭典2019」の、技能士コーナー(132㎡)に出展し、石留・象嵌などのパフォーマンスをするにあたり、手伝いを募集している(交通費等手当付)。

同祭典には、東京の職人だけでなく、全国から選りすぐりの匠が集結し、「衣」「食」「住」「工」の技が見られ、体験できるほか、同祭典サポーターのK-1 WORLD MAX元世界チャンピオンの魔装斗さんを迎えて、多数のイベントが開催される。会場は、東京・五反田のTOC展示会場13階。入場無料。

問合せは、東京貴金属技能士会事務局の担当:三塚司まで(TEL.03-3942-7946)。

《投稿》 合成ダイヤモンド騒ぎについて思う

(株)リオインターナショナル代表 山口 遼

昨今、宝石業界で一番賑やかなのは、合成ダイヤモンドについての講演会や記事であろう。作られ方から始めて、鑑別の方法、さらにその商売に対する影響に至るまで、まあ、この業界にこんな論客がいたのかと驚くほどに多い。しかし、私見ではあるが、何をそんなに騒ぐのか分からなければいけないことは、一つしかないと思うのだ。

それは、消費者が混同しないようにする、ということに尽きる。つまり、白く光る石があれば、それは天然ダイヤモンドなのか、人工ダイヤモンドなのか、鉛ガラスなのかを、絶対に混ざらないで、はっきりと分かるようにして、消費者に提示すること。そのどれを選ぶかは消費者の自由で、混同することのないようにするのが、業界

の唯一かつ絶対にするべきことだ。聞くところによれば、GIAはシンセティックという言葉を使わないで、「ラボラトリーグロウン」という表記にするとか。なんで難しい英語を使うのか疑問である。こうした事例は、昔京セラの人工色石が登場した時にもあったことで、最初の頃は、京セラも「cultured」という言葉を人工石に使おうという提案を、真珠業界にしてきたことを思い出す。

人工ダイヤモンドで業界がするべきことは、合成、人工、シンセティック以外の接頭語を、ダイヤモンドにつけて売ることを厳禁することであり、天然と人工のものを意図的に混ぜて販売する業者、あるいは人工であることを表示しないで、不思議な接頭語をつけたダイヤモンドを売る業

者に対し、そうした行為を禁じることで、場合によっては、業界団体の名前前でそうした業者を公表して、消費者の誤解を招くことのないようにすることだろう。聞くところによれば、不思議な接頭語をつけた人工ダイヤモンドが、すでに販売されているとか。いつになっても業界人の考えることには変わりはないと、つくづく思う。ひどいようだが、大事なものは天然と人工のものを混同しないことであり、意図的に混同を図る業者がいれば、それは業界として排除しない限り、業界の健全化は計れないと思う。

私は、人工が天然に劣るとは思わない。しかしどちらを選ぶかは、消費者の自由であり、それを意図的に売る側が操作することだけは、絶対に許されないことだと言っているのだ。

長い目で見れば、京セラの場合と同じように、消費者が自由に間違いない選ぶことができれば、人工ダイヤモンド騒ぎは落ち着くと思う。もし業界の中に、これを混同させて利益を図ろうとする業者を放置して、ジュエリー産業の根幹をなすダイヤモンドが、消費者からの信頼を失えば、それはジュエリー産業そのものが、消滅する第一歩となると思う。

いつもながらの、鑑別業者や宝石学者の大騒ぎも結構だが、それは業界内部の勉強の問題であり、大切なのは、業界として何が消費者にとって大事かをしっかりと認識し、紛らわしい接頭語をダイヤモンドにつけて売ろうとする業者や、両者を混同して扱う業者を排除することではないか。全ては消費者の視点から見れば、自明のことだと思っただが。

佐藤英昭弁護士による『特許の哲学』 其の37

改正意匠法が成立 主な改正ポイント

製品の形状やデザインを保護するための改正意匠法が令和1年5月10日参議院で可決、成立した。多岐にわたる改正項目のうち主なポイントについて取り上げる。
(1)画像デザインの保護:①操作画像や表示画像について、画像が物品に記載・表示されているかどうかにかかわらず保護対象とする②壁や道路等に映写される画像なども保護対象に。

- (2)空間デザインの保護:現行法の保護対象である物品(動産)に加え、建築物(不動産)の外観や内装も保護対象に。
- (3)関連意匠制度の拡充:①関連意匠の出願可能期間を本意匠の出願日から10年以内までに延長②関連意匠にのみ類似する意匠の登録を認める。
- (4)意匠権の存続期間の延長:「登録日から20年」を「出願日から25年」に延長。
- (5)複数意匠一括出願の導入:1つの願書で複数の意匠の出願を認める。但、1つの意匠毎に1つの意匠権を発生させる原則は維持し、実体審査や意匠登録は現行と同じく意匠毎に行う。(特許業務法人共生国際特許事務所所長)

JJDA新会長に黒沢秀二氏 次の時代の協会を作り上げる

日本ジュエリーデザイナー協会(JJDA)は、5月に第8回定時総会を開き、新会長に黒沢秀二氏が就任した。黒沢新会長は「JJDAは55年を迎え、創立当初の目標はある程度満たさ

れたと思う。今後は社会にどのような提案ができるか、JJDAだけではできないことがあるのではないかなど、考えていかなくてはならない時代に来ている。総力を挙げ、若い世代にも共感を与えて参加してもらえよう、次の時代の協会を作り上げていきたい」と述べている。

サンリオ大賞8位で人気のyoshikitty U-TREASUREからジュエリー始動

X JAPANのYOSHIKIとサンリオのハローキティとのコラボレーションキャラクター「yoshikitty(ヨシキティ)」の10周年を記念し、yoshikittyと

U-TREASUREによるコラボジュエリープロジェクトが始動。商品デザインは9月に発表され、予約受付は10月になる予定。なお、yoshikittyは2019年サンリオキャラクター大賞で8位に入賞している人気キャラクター。



「TAROKAMITANIティアラ展」 日本橋三越本店で特別公開

世界初のオーダーメイド・ティアラデザイナーとして、ロコミで広がり、世界中のセレブな花嫁、女性たちから支持を集めている紙谷太朗氏の新作ティアラと歴代のティアラコレクション約30点、デザイン画などを集めた「TAROKAMITANIティアラ展」が、6月に日本

橋三越本店で特別公開され注目を浴びた。

紙谷氏は、自身の結婚式で妻に贈ったティアラをきっかけに、ティアラブランド「TAROKAMITANI」をスタート。国内外の花嫁、芸能人らの結婚式、映画やCMなどでオリジナルティアラを数多く制作してきた。

今回は、世界的シューズブランド「セルジオロッシ」のオリジナルティアラが世界初公開されたほか、ファンリテーターに鞠ウエディングパーク瀬川由絵氏を迎えたトークショーや、ミス・グランド・ジャンボのファイナリストと有名ヘアスタイリストによるティアラ・ヘアショーなどが実施された。

小売の十字路 158

時計店の現場から 電池交換の今

電池交換が最盛期の頃は、それだ

けの取次屋さんがあって、店頭にはぼり旗など立てていたものだ。クリーニング店や金物店、カメラ屋さんなど時計とは関係のない異業種の人達が、いわば副業のように扱っていた。ホームセンターなどでもパートと思いきおばさんたちが、当たり前のように手掛けていたし、私の店でも半年も動めれば「簡単な電池交換程度はやってください」と要請していた。

量が合ったこと、電池交換自体がさほどリスクな作業ではなかったことがおもな理由だが、現在はかなり風向きが変わっている。街で取次屋さんを見かけなくなったのは、量が全体として減少して集配コストが賄えなくなったことが原因と聞いて

お店とお客様の橋渡しができる!!
販売員さんご紹介します!
BICO・GHI株式会社
エムシー・ジー・マキシン 紹介事業部
東京 TEL:03-3409-6954
札幌 TEL:011-219-0758
大阪 TEL:06-6348-1020

いるが、そればかりではなく、電池交換自体が次第にリスクな仕事になってきたことも影響しているように思える。そのリスクというのは、時計部品供給の期限切れというのが一つあって、例えば電池交換の作業中にコイルを傷つけてしまえば、時計自体を弁償せざるを得ないということがある。クォーツ時計が発売されてから50年も経つわけだから、古い時計の電池交換には、こういう事は当然起こり得る。またブランド品を含めたスイス時計の対応も年々変わってきて、ほとんど部品を出さずに自社修理に徹しているから、結局何か些細な問題が起きても時計店は、代理店へ全面修理で依頼せ

ざるを得ず高いものにつくことがある。パートさんたちが作業できたのは、持ち込まれる品物が主に国内大手のメーカーのものとの通ったスイス時計の一部であったから、品物を見極めが楽であったが、現在は本当に多種多様なブランド品や、ブランド風の安時計などが出回っていて、預かることにより慎重に観察したうえでないと、面倒なことになりかねない。そのため電池交換の技術の向上はもとより大切なことだが、同時に手掛けていい品物かどうかの見極めがとて大切な時代になった。時計のチェーン店で断られたものを、私の店に持ち込んでくるお客さんが結構いて、さほど難しいとは思えないものがあるが、たぶん電池交換の扱っ種類を、店の方でかなり絞り込んでいるように思える。それだけ電池交換の作業がリスクなものになっていることだ。経験でいえば、電池交換では何度も痛い目に合っている。側開けを滑らせてコイルを切る、裏蓋閉めの作業でガラスを割る、裏蓋開けの段階でケース

がキズになる等、こちら側が責任を負う事ばかりでない。機械を抑えている中、枠を外す作業中に、文字盤のインデックスが外れる、秒針が外れるなど、品物自体の作りの粗雑さから来るやむをえないトラブルもある。ねじを外そうとしたらねじ山が半分欠けて、電池を抑えることが出来なくなったことも古い時計では何度もあった。電池交換はリスクを伴う作業であるが、起きてしまった不手際に、自店で修理対応が出来るかどうかという、出来ない品物の方が格

段と多くなっているのが現状である。ブランドに対する時計店の勉強不足も一因ではあるが、そればかりではなく、やはり市場に流れ込んでくる品物の多様性こそが、電池交

換のリスクの度合いを高めているのである。当たり前ではあるが、常日頃より情報収集を心掛けておくことが、時計店に一段と求められている。

業界の人達には釈迦に説法のような文章なのだが、電池交換の「今」を記録しておくことには、幾分か意義があると思っ次第である。

家庭用永久磁石磁気治療器
ULTRA Neo
PAT.Japan-USA China EPC
金具のないネックレス
簡単に着脱できるマグネット式にして、留め金を無くしました。多様なカラーと素材展開で、どんなスタイルにも対応できます。
http://www.sunchalaine.com
株式会社 サン・シャレーヌ
〒110-0005 東京都台東区上野5-16-16 天美ビル3階
TEL:03-3836-5800 FAX:03-3836-5850
E-mail:info@sunchalaine.com
ULTRA Neo®は当社の登録商標。商品は当社の特許製品。模倣行為は違法であり、禁止。

修理から入る! モデルビジネスで
年商7,000万円
GOOD DESIGN 2017年度受賞
美しいクラスプ
Nクラスプ
・2017年度受賞
ピアスを守る
Crystal Case
クリスマス
キャッチ
・2016年度受賞
お問い合わせ) TEL:03-5688-6081 メール: info@ecmis.jp
株式会社 エクス 住所: 東京都台東区上野1-20-4 第一日笠ビル URL: http://www.ecmis.jp

FINE MECHANICAL WATCHMAKING,
FROM JAPAN.
PRESAGE
SEIKO
SINCE 1881
TRIMATIC
SARW035 120,000円+税 メーカー希望小売価格 自動巻 www.seikowatches.com
セイコーウオッチ株式会社